

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
福岡ビューティーアート 専門学校	平成12年3月31日	岩本 克也	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-28 (電話) 092-434-7131
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、学校教育法に基づき、美容師、ビューティアドバイザーとして美容業に従事しようとするものに必要な知識、技能を教授し、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
美容科	2年	124人	248人
ヘアメイク科	2年	124人	248人
トータルビューティー科	2年	72人	144人
エステティック科	2年	30人	60人
美容研究科	1年	60人	60人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
美容科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材
ヘアメイク科	美容師国家資格を取得し、ヘアメイク技術を通して社会で活躍する人材
トータルビューティー科	主体性・多様性・協働性を身につけ、様々な美容現場で活躍する人材
エステティック科	職種に応じ必要とされる資格を取得し、エステティック技術を通して社会で活躍する人材
美容研究科	美容師国家資格を取得し、美容技術を通して社会で活躍する人材

<取得可能な資格について>

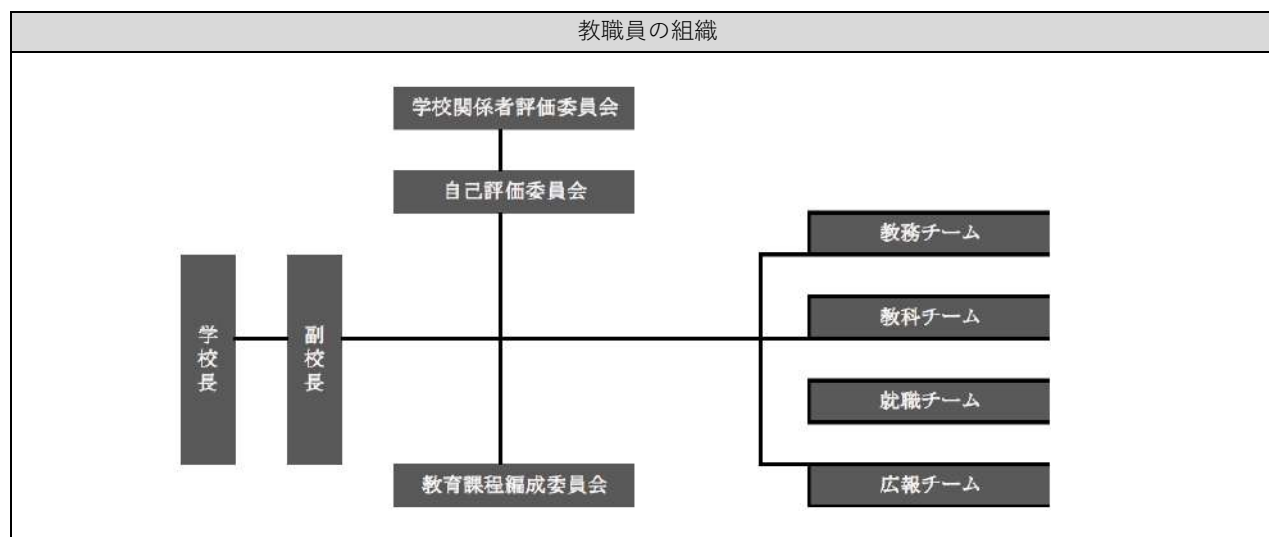
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/jobdata/skill_introduction.shtml
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/jobdata/jobdata.shtml
------	---

③教職員

専任教員	28
兼任教員	16
事務職員	4



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
溝口 五鈴	美容師	株式会社グラシアス代表。美容師歴33年であり、教員歴も20年以上で多くの美容師養成に従事。
垣野 しのぶ	メイク	メーカーで美容部員としてキャリアを積んだ後、新人教育・新人研修を担当し数多くの美容部員の育成に従事。
松島 真由美	エステ	業界でのキャリアを15年、(株)テスワールドにてカウンセリング、エステティシャン業務全般に携わり、店長職を経て認定講師として幅広く従事。
山口 賀世	ネイル	ネイルサロンを経営。現在もネイリストとして活躍中。日本ネイリスト協会本部認定講師、ジェルエデュケーター、美容師国家資格等所持。
田中 芙美子	アイラッシュ	アイデザイナー歴5年、講師歴5年。まつ毛エクステンション技術と合わせアイブロウ技術を習得後に開業・キャリアサポートを行っている。

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/schoolguide/advantage.shtml
実習実技への取組	カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。 各学科で10日間の体験実習を行う。美容業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っている。 終了後には振り返りを実施し、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。 又、百貨店や地域イベント等でもサロンワークを通して学んだことをお客様等に提供し接客やマナーなどキャリア教育に繋げている。

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/schoolguide/year.shtml
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応	
学科担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。	

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/pdf/fukuoka-beauty/guideline_2025/guideline_01.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---